



渋谷本町学園だより

★HPアドレス★

<http://shibuya.schoolweb.ne.jp/shg>

令和8年2月2日発行 NO.10

渋谷区立渋谷本町学園

統括校長 松岡 弘悟

TEL 3373-3201

学校評価について

統括校長 松岡 弘悟

冬休み明けの授業が始まり、早いもので1か月が過ぎようとしています。令和7年度も残り2か月、校内では今年度のまとめと次年度の計画づくりが本格化してきます。保護者の皆様にご協力いただいた学校評価アンケートの詳細な結果は、別紙にてご確認いただきますようお願いいたします。教職員による自己評価はもとより、お子様をはじめ保護者の皆様、地域の皆様の声を活かして、よりよい学校づくりに向けて次年度計画等を策定していきたいと思っております。

【学校評価とは】

教育活動や運営の改善・質の向上を目指して実施する自己評価と関係者評価になります。その他に、専門家による第三者評価を実施している学校もあります。目的は、「①学校として組織的・継続的な改善を図ること。②結果の公表により、説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。③設置者が、結果に応じて一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。」となります。

【令和7年度学校評価について】

今年度の学校評価アンケートは、①子ども主体の学校づくり②安心・安全に挑戦できる環境③校務DXの取組④家庭・地域との協働⑤特色ある教育活動を重点として、各質問項目を作成しています。以下は、教員と保護者の結果について、肯定的な回答が20ポイント以上の差がある項目になります。

○お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。

○学校は、お子さんの進捗や習熟度に応じた授業や支援を行っていますか。

○学校は、探究「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

○学校は、いじめ対応方針を児童・生徒や保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

○学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。

○校外学習の引率、読み聞かせ、シブヤ未来科等のボランティアに参加しましたか。

○地域との連携活動（防災訓練や地域清掃等）に積極的に参加しましたか。

○学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

○学校は、デジタル・シティズンシップが身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

全20の質問項目のうち、上記9項目で教員と保護者の結果に20ポイント以上の差がある回答になっていることが本校の課題と捉え、前述の「学校評価とは」にある①②の目的が達成できるよう、自由意見でいただいた多数のご意見を踏まえて、今後の教育活動はもとより、保護者・地域との連携の充実を目指して取組を進めてまいります。最後に、本アンケートへの保護者回答率が、37%となっています。このことも課題と捉え、次年度は回収率を高め、より多くの保護者の方々からのご意見・ご要望を期待するとともに、学校の教育活動へ参画できる機会を工夫してまいります。よろしくお願いいたします。

転居等により児童生徒の居住地の変更(予定)がある場合には、早めに担任に連絡をお願いいたします。

今後の行事予定 2 月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
						1
2 全校朝礼 都立高校推薦合格発表(9)	3 個人面談始(E・F) 旅するムサビプロジェクト(4) 小学校音楽鑑賞教室(5)	4 安全指導	5 幼保交流(1B・1C) 都立高校一般入試志願者情報入力・処理提出終(9)	6 個人面談終(F) 委員会・代表委員会 漢字検定	7	8
9 個人面談・三者面談 4時間授業(1~6) 中央委員会	10 幼保交流(1A) 個人面談・三者面談 4時間授業(1~6)	11 建国記念の日	12 児童集会 個人面談・三者面談 4時間授業(1~6) 部活動停止期間始(7~9)	13 お別れ遠足(E) 個人面談・三者面談 4時間授業(1~6)	14	15
16 ブロック朝礼 個人面談終(E) 個人面談・三者面談 4時間授業(1~6)	17 身体測定(3・4) 後期期末考査(7・8) 4時間授業・給食なし(7~9)	18 特別時程 校外学習(1B・1C) 後期期末考査(7・8) 4時間授業・給食なし(7~9)	19 身体測定(1・6・E) 後期期末考査(7・8) 4時間授業(7~9)	20 幼保交流(1A) 身体測定(2・5) クラブ活動最終	21 令和8年度都立高校一般入試(9)	22
23 天皇誕生日	24 避難訓練	25 校外学習(1A・1D)	26 幼保交流(1D) ありがとう集会(1~9)	27 ありがとう集会(1~9) 委員会・代表委員会	28	

研究推進について

教員の今年度の研究は、「探究的な学びを通して、互いに学び合い、高め合う児童・生徒 ～探究の4つのスパイラルを意識する授業づくり～」を研究主題として取り組みました。

探究の4つのスパイラルとは、「課題を設定する」「情報を収集する」「整理・分析してまとめる」「表現する」というプロセスを繰り返すことを指します。このプロセスを通じて、児童・生徒が自らの学びを深め、互いに学び合うことが学習指導要領でも強調されています。今年度は、7月に小学校で外国語科、11月に中学校で社会科の代表授業を行い、全教員が参観しました。この代表授業を通じて、教員間で意見交換を行い、授業改善に向けた具体的なアイデアを共有しました。そして他教科の授業改善も目指しました。すべての教員が教科部会に所在し、指導案の検討から授業実践に至るまで、研究を重ねました。そして、小中一貫校の特性を活かして、9年間を見通した系統的な指導で児童・生徒の能力を最大限に引き出せるよう努めました。そして、この取り組みの効果を測定するため、5月と1月に児童・生徒へのアンケートを実施し、その変容を分析しました。

また、今年度本校は、渋谷区より「子ども主体の学校づくり」の研究推進校として指定されており、大きく①授業、学び②児童生徒会活動③運動会、の3つの分野で「子ども主体」の取り組みを行いました。上記の代表授業を始めとした教科分科会授業でも、子供達が主体的に学び活動する「子ども主体」の内容や活動を盛り込みました。1年間を通して、全教員が自分達の出来る事から取り組み、学校全体に「子ども主体の教育」の意識が芽生え始めております。

この様な今年度の成果を活かし、来年度もさらに探究学習を推進できるよう努力してまいります。保護者の皆様、ご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

研究主任 指導教諭 後藤 勝洋 主幹教諭 福守 久子



ALT Message

“RAMADAN KAREEM”

Ramadan is one of the holiest months of the Islamic calendar for Muslims. It is the month of blessings and spirituality. Muslims fast (refrain from eating and drinking) in this month from sunrise till sunset. The morning meal before the sunrise is called “Suhoor” and the evening meal to break the fast is called “Iftar”. Besides many foods, Muslims especially eat “dates” during iftar. They spend most of their time performing special prayers and reading the holy book, “Qur’an”. Ramadan teaches self-reflection, patience and self-discipline. It is the time of sharing blessings with each other, especially with the needy. After Ramadan, Muslims celebrate a festival, called Eid-ul-Fitr. Delicious meals and gifts are exchanged among family and friends.

By Teratani Kazuko

ラマダンは、イスラム暦の中でも最も神聖な月の一つであり、祝福と精神性の月です。

ムスリムは日の出から日没まで断食(飲食を控える)を行います。

日の出前にとる食事は「スフール(Suhoor)」と呼ばれ、日没後に断食を解く食事は「イフタル(Iftar)」と呼ばれます。さまざまな食べ物のほか、とくにイフタルでは「デーツ(ナツメヤシの実)」を食べることが習慣となっています。

ムスリムはこの月の多くの時間を、特別な祈りを唱えたり、聖典『クルアーン』を読んだりして過ごします。ラマダンは自己省察、忍耐、そして自律を教える月です。また、特に恵まれない人々と祝福を分かち合う時期でもあります。

ラマダンの後には「イード・アル=フィトル(Eid-ul-Fitr)」と呼ばれる祭りが祝われます。家族や友人の間でごちそうや贈り物を交換し、喜びを分かち合います。



Made with AI

School of the Future HONMACHI 7年

「締め切りや時間を守ろう！」と学年としての目標を伝えて始まった令和7年度、これを読んでいる7年生がいたら、一度振り返ってみてください。実践できていますか？生活委員会によるオンタイムコンテストや、学級での話で意識できるようになっていたら嬉しいです。

さて、今年度の取り組みを振り返ります。初開催の音楽フェスタ、音楽の授業で学習したリズムに自分たちで詞などをつけて、作品を作り上げました。学級づくりとして素晴らしかったです。12月の職場体験学習では、各事業所の方にお世話になりました。「働き手」として事業所の方から見られることは初めてのことで、課題も含め、心に残る体験となったのではないのでしょうか。

1月になり、「8年生の準備です」と来年度に向けての意識をつけるように話しました。あっという間に迫ってくる進路選択の時期。上級学校調べ・訪問が課題として出されると思います。自分は将来どんなことをしたい(してみたい)のか、そのために中学校卒業後どういう道に進むのか、自分自身と相談する1年間になると思います。多くの生徒が高校進学を選択しますが、検定試験や委員会活動、ボランティア活動に今から取り組み、入試でのアピールポイントを増やすと良いですね。秘めた力がたくさんある7年生、来年度も失敗を恐れずに突き進んでほしいです。

7学年主任 主任教諭 永山 悠

